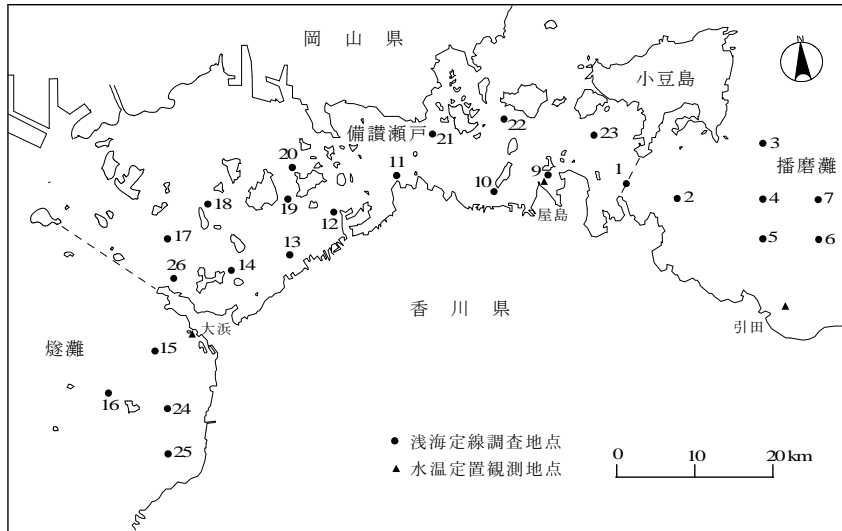


香川県漁海況情報 平成 25 年 5 月 (H25-2 号)

香川県水産試験場

1. 海況

1) 観測地点



2) 浅海定線調査

(1) 調査日

平成 25 年 5 月 1 日 (播磨灘), 2 日 (備讃瀬戸, 燧灘)

(2) 水質概況

平年と比較すると、水温、塩分、溶存酸素は「やや低め」から「平年並み」、透明度は「平年並み」から「やや高め」であった。

5月

		水温 (°C)			塩分 (PSU)			透明度 (m)	溶存酸素 (ml/l)	
		表層	10m層	底層	表層	10m層	底層		表層	底層
播磨灘	7地点平均値	13.4	13.2	12.8	32.2	32.2	32.2	11.3	5.40	5.26
	平年値	14.3	13.4	12.2	32.3	32.4	32.5	9.2	5.98	5.44
	平年偏差	-1.0	-0.2	0.6	-0.1	-0.2	-0.3	2.1	-0.58	-0.18
	標準偏差(σ)	1.1	0.8	1.0	0.5	0.5	0.5	2.9	0.47	0.44
	状況	やや低め	平年並み	平年並み	平年並み	平年並み	やや低め	やや高め	やや低め	平年並み
備讃瀬戸	14地点平均値	14.1	13.9	13.8	32.5	32.5	32.5	6.0	5.43	5.36
	平年値	14.5	14.1	14.0	32.6	32.7	32.7	5.7	5.62	5.59
	平年偏差	-0.4	-0.3	-0.2	-0.2	-0.2	-0.2	0.3	-0.19	-0.23
	標準偏差(σ)	1.1	1.1	1.1	0.6	0.6	0.6	1.8	0.45	0.43
	状況	平年並み	平年並み	平年並み	平年並み	平年並み	平年並み	平年並み	平年並み	平年並み
燧灘	4地点平均値	15.1	14.0	12.9	32.5	32.7	32.8	11.6	5.38	4.99
	平年値	15.9	14.1	13.3	32.8	33.0	33.2	10.4	5.69	5.19
	平年偏差	-0.7	-0.1	-0.3	-0.4	-0.4	-0.4	1.2	-0.31	-0.20
	標準偏差(σ)	1.3	1.3	1.5	0.4	0.4	0.4	3.0	0.39	0.49
	状況	平年並み	平年並み	平年並み	やや低め	やや低め	やや低め	平年並み	やや低め	平年並み

平年偏差 = 平均値 - 平年値

平年値の算出期間

水温、塩分及び透明度：昭和 56 年 (1981) 1 月～平成 22 年 (2010) 12 月

溶存酸素：昭和 56 年 (1981) 2 月～平成 22 年 (2010) 12 月

水温は、毎月 1 日の値に補正。

平年並み $0\sigma \leq \text{平年偏差} < 0.6\sigma$ (σ : 標準偏差)

やや高め (やや低め) $0.6\sigma \leq \text{平年偏差} < 1.3\sigma$

かなり高め (かなり低め) $1.3\sigma \leq \text{平年偏差} < 2.0\sigma$

著しく高め (著しく低め) $2.0\sigma \leq \text{平年偏差}$

3) 定置観測 (水温)

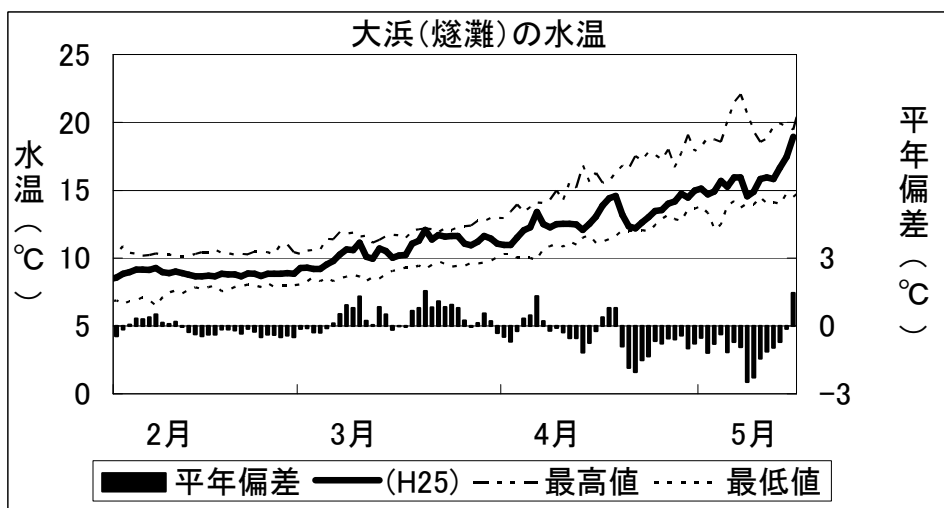
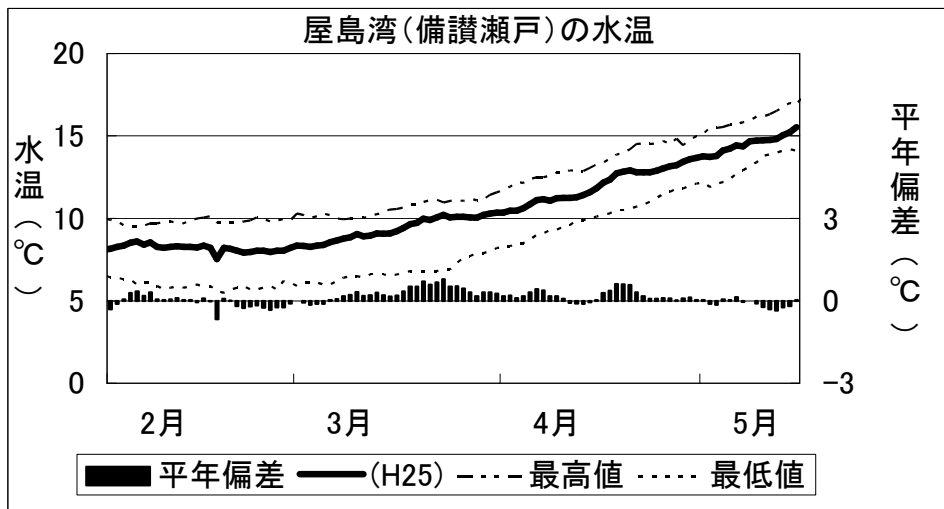
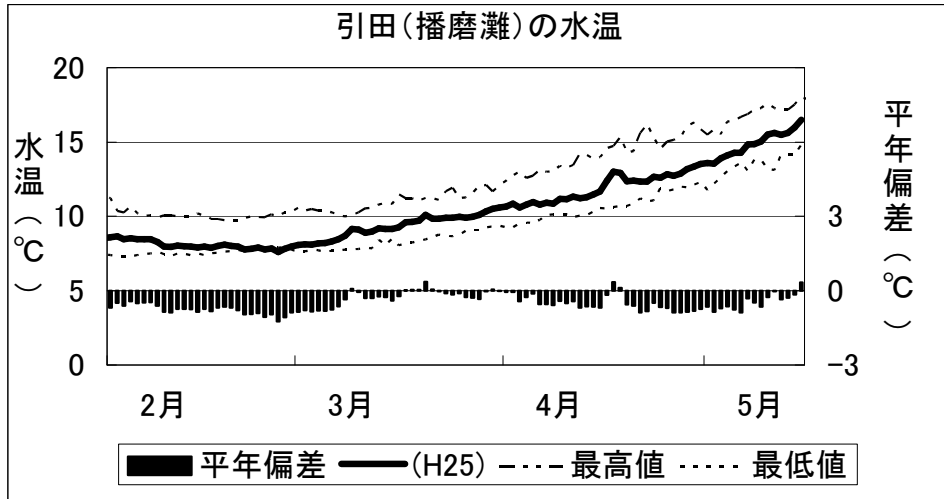
播磨灘 (引田) : 2月はやや低めからかなり低め, 3, 4, 5月はやや低めから平年並みで推移している。(2月下旬に3日, 過去最低値を更新。)

備讃瀬戸 (屋島) : 2月は概ね平年並み, 3月は平年並みからやや高め, 4, 5月は平年並みで推移している。

燧灘 (大浜) : 2月は概ね平年並み, 3月は平年並みからかなり高め, 4月はかなり低めから平年並み, 5月はかなり低めからやや高めで推移している。

平年値の算出期間 引田及び大浜 : 平成元 (1989) ~平成 24 (2012) 年

屋島 : 昭和 50 (1975) ~平成 24 (2012) 年



4) 赤潮 (4月20日～5月19日)

播磨灘：5月13日に播磨灘南西部と小豆島東部で *Noctiluca scintillans* による赤潮が確認された。

備讃瀬戸：発生無し

燧灘：発生無し

5) 卵稚仔

調査日：平成25年5月2日(播磨灘)，1日(備讃瀬戸，燧灘)

出現量

ー：平年値が0の場合を示す。(その他の魚類については平年値がない。)

平年値の算出期間

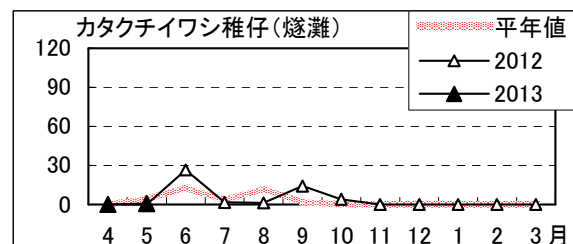
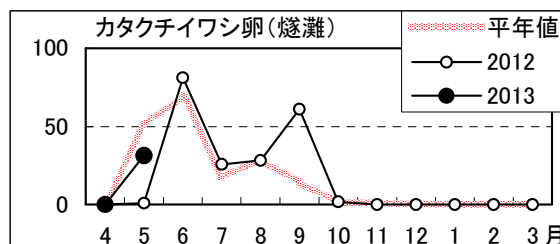
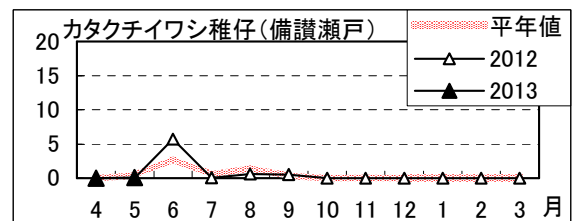
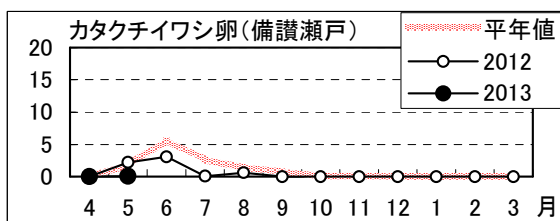
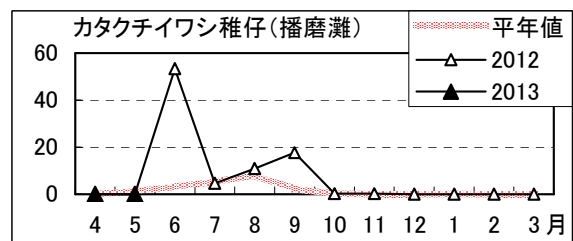
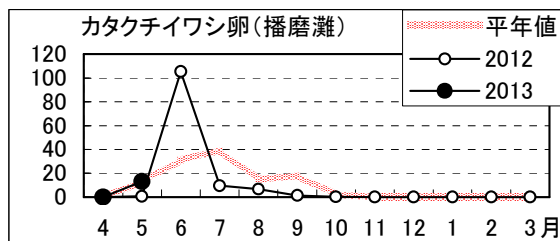
カタクチイワシ：昭和55(1980)年度～平成23(2011)年度

マイワシ：平成6(1994)年度～平成23(2011)年度

イカナゴ：昭和56(1981)年度～平成23(2011)年度

		カタクチイワシ		マイワシ		その他の魚類	
		卵	稚仔	卵	稚仔	卵	稚仔
播磨灘	平均値	13.1	0.0	0.0	0.0	2.4	0.1
	平年値	12.6	1.3	2.6	0.1		
	対平年(%)	104.4	0.0	0.0	0.0		
備讃瀬戸	平均値	0.1	0.1	0.0	0.0	16.3	0.9
	平年値	1.8	0.4	0.2	0.2		
	対平年(%)	3.7	35.0	0.0	0.0		
燧灘	平均値	31.3	0.9	0.0	0.0	9.3	3.6
	平年値	50.6	3.9	1.0	0.7		
	対平年(%)	61.9	22.1	0.0	0.0		
総平均	平均値	10.8	0.3	0.0	0.0	10.9	1.3
	平年値	16.0	1.4	1.0	0.3		
	対平年(%)	0.7	18.6	0.0	0.0		

*マイワシの卵・稚仔は，平成14年度以降，確認されていません。



平年値は1980年度から2012年度の平均

2. 漁況

1) 4月からの漁況は次のとおりである。

海 域	漁 況
播 磨 灘	<p>底びき網ではメイタガレイ、マダイ、コノシロ、マアナゴ、ベイカ（ジンドウイカ）、コウイカ、ヒラメ、アカニシ、ガザミ、小エビ類などが漁獲されている。</p> <p>建網ではメバル、カサゴ、マダイ、クロダイ、ウマヅラハギ、マコガレイ、メイタガレイ、クジメなどが漁獲されている。</p> <p>柵網ではウマヅラハギ、コノシロ、マダイ、コウイカ、クロダイ、スズキ、シログチ、マコガレイ、ヒラメ、メバル、シリヤケイカ、カミナリイカ、アイゴなどが漁獲されている。</p>
備 讃 瀬 戸	<p>底びき網ではマアナゴ、スズキ、小エビ類、ヒラメ、コウライアカシタビラメ、ハリイカ、マダコ、ベイカ（ジンドウイカ）、キュウセン、メイタガレイ、クロダイ、マダイ、ガザミ、アカニシなどが漁獲されている。</p> <p>建網ではメバル、カサゴ、マダイ、クロダイなどが漁獲されている。</p>
燧 灘	<p>底びき網ではイヌノシタ、メイタガレイ、小エビ類、シリヤケイカ、コウイカ、ヒラメなどが漁獲されている。</p> <p>建網ではメバル、コウイカ、ウマヅラハギ、カサゴ、オコゼ、キュウセン、マダコ、サザエなどが漁獲されている。</p> <p>柵網ではクロダイ、マダイ、ウマヅラハギ、シリヤケイカ、イシダイ、メジナなどが漁獲されている。</p>
香川県全域	<p>さわら流しさし網は4月21日から春漁が始まっており、香川県魚市場（株）における5月10日までの県内の取扱尾数は、サワラが約13.7千尾で去年の半数（一昨年と同程度）、サゴシが約1.7千尾で去年、一昨年と同程度である。サイズは3～5kg（2、3歳魚）が主体。播磨灘と備讃瀬戸は昨年より少ないが、燧灘は昨年より多い。</p>

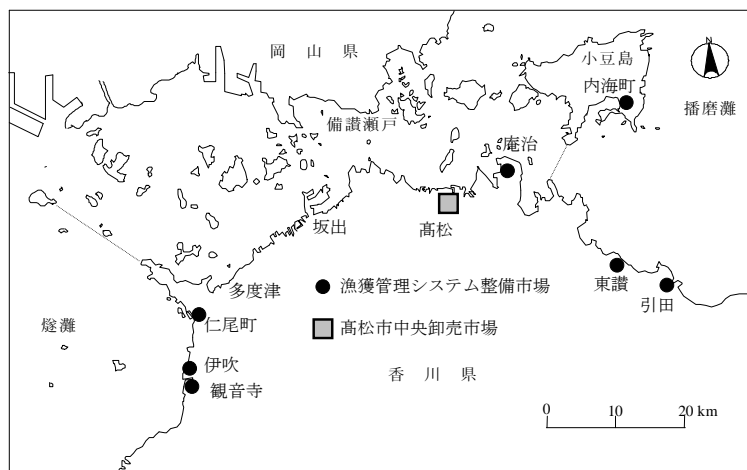
2) 香川県の漁獲情報

(1) 漁獲管理（TAC）システムデータ

日本周辺の生物資源を適切に管理保存するためのTAC(漁獲可能量)を迅速に把握することを目的とした全国システムで、本県では以下の産地市場に整備されている。

(2) 高松市中央卸売市場データ

水産物のうち生鮮水産物（香川県全体からの集荷物）について、高松市中央卸売市場のホームページで公開されている情報を水産試験場で集計したものを。



※ 現在、漁獲管理（TAC）システム全体を更新中のため、グラフは高松市中央卸売市場のみとしています。

